



“いいまち” つくる#町です！！

2018年7月 第23号

岡崎市議会議員

井町よしたかの

“いいまち” ニュース

(市政レポート)

子供からお年寄りまで幸せを感じられる岡崎市を目指します！

発行：岡崎市矢作町字出口1番地 井町圭孝連絡事務所（東し労組内） TEL:34-2514

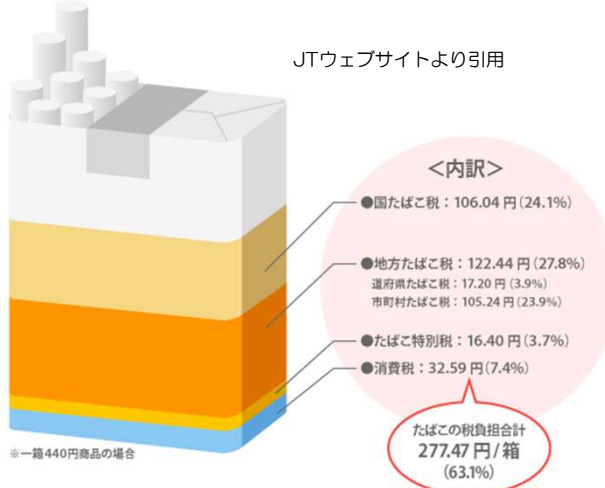


乙川リバーフロント地区の名鉄東岡崎駅、乙川河川緑地、(仮称)乙川人道橋、中央緑道、籠田公園、図書館交流プラザりぶら、岡崎公園などの公共空間の各拠点を結び主要回遊導線「QUURUWA」の拠点のひとつとして位置づけられている籠田公園。ステーション噴水、四阿(あずまや)などを配置し、これまでどおり夏祭りやジャズストリートなどのイベント会場としても使用でき、以前にも増して来園者が日常的に気持ち良くなるべくことができる場所とすることを目的として、整備される。(噴水は子供が水遊びできる仕様)

籠田公園が変わる！

岡崎市議会は、6月定例議会を6月1日から6月22日までの22日間開会し、市長提出議案15件等を審議し、全議案可決されましたので、6月定例会のトピックスをご報告させていただきます。今後ともご指導宜しくお願い致します。

たばこ税増税に伴い、市たばこ税も変更。一箱440円のたばこの場合、現在の税額は277.47円。このうち岡崎市税となるのは105.24円。今後3回増税が実施され、平成33年10月に岡崎市税分は一箱当たり131.04円となる。加熱式たばこについては毎年10月15段階で引き上げることが決まっている。



たばこ税増税の影響

工事期間は、8月(夏祭り終了後)から来年3月の予定。総額約3.7億円。ただし、トイレ、ステーション及びパーゴラ3基は、別途建築工事にて発注予定。



認知症に理解の深いまちづくりモデル事業

最期までおいしく食べよう『食』を通じた多職種連携事業が愛知県の事業に採択された。取り組む内容は、医療職や介護職など、多職種との連携による認知症高齢者の食を支える仕組みづくりや、多面的な支援を行い、出来る限り自分の力で食べる事を支える体制づくりを目指す。

3年間の事業で、今年度は市民意識調査による課題の抽出、今後の取組の方向性を検討、31年度は調査結果について、報告書の作成、報告会の実施、32年度には、2年間の実施結果をもとにガイドブックの作成を予定。

また、30、31年度は、研修や相談会、ミニ講座など認知症に対する理解や知識を深めていけるような取組みを行う予定。

井町の部屋

6月定例会で自身14度目の一般質問に登壇しました。

質問した①本市の不妊治療②本市の竹林③お城ご朱印についての3項目の要点を報告させていただきます。

不妊治療補助

Q 一般不妊治療よりも妊娠に結びつく確率が高いが、高額な治療費が必要な特定不妊治療に対して、現在の補助金に加え、本市が更に乗せして補助する考えは？

A 体外受精が対象である特定不妊治療費補助事業は国の実施要綱に従い、国庫補助金が1/2、市費負担額が1/2で実施しており、母子保健分野において産婦健康診査の実施など優先すべき課題も多いため、ことから特定不妊治療費補助の補助額を乗せすることは考えていない。

Q 本市は乗せ補助する考えはないとのことだが、乗せで補助金を出している愛知県内の自治体はあるのか？

A 県内の自治体では、名古屋市、一宮市、碧南市、西尾市、東海市、田原市、東郷町、設楽町が特定不妊治療費補助について乗せ補助をしている。



竹林対策

Q 竹林の拡大が問題視されている自治体もあるが、本市において、竹林に対する市民からの相談があつたのか？そしてその相談に対応してきた事例があれば伺う。

A 河川美化団体等から相談を受け、竹林の伐採等について一緒に対応してきている。平成26年に、乙川流域に係る漁業協働組合美しくする会などの団体により乙川の吹矢橋上流右岸で竹林の伐採が行われ、また、平成26年から28年までは、菅生川を美しくする会の六名学区の住民により乙川明神橋下流左岸で竹林の伐採が行われた。その際、道具等を貸出した河川美化団体等が竹林を伐採したのち、市としては伐採した竹の運搬を行い、中央クリーンセンターで処分してきたところである。

お城ご朱印

Q 今後岡崎城でお城ご朱印を取り扱う計画はあるのか、また本市のお城ご朱印についての見解を伺う。



井町の意見

A お城ご朱印については、観光客誘致、入場者増加のツールとして一定の効果があるように思われるが、近隣の神社仏閣等との調整などもあり、現在のところ岡崎城における取り扱いの予定はないため指定管理者等と協議・検討するとともに、本市の観光行政の取組みの一つとして、神社仏閣のみならず飲食店や和菓子屋などにも事業協力を募り、市内を周遊してもらうツールとしての導入可否について、今後検討、研究していきたい。

特定不妊治療に対する補助については、不妊治療を受けられる方は、子供を産み育てたい方であり、現在の少子化社会にあっては大切にしなければならぬ方たちである。補助を乗せすれば、特定不妊治療を受けるために本市に移り住んでくれる方が増えるかもしれないし、また子供が生まれたら更に人口の増加にもつながる。働き世代や子供が増える事は本市にとって大きなメリットである。年齢が若い方でも特定不妊治療に踏み切れるよう本市の上乗せの補助は必要である。

竹林の問題については、本市では大きな問題となっていないようだが、乙川沿いや額田地域では竹林が拡大し、問題となりつつあるように感じている。今後大きな問題となる可能性は十分に有る。竹の繁茂による影響は多岐にわたる事から、総合的な窓口の必要性も含めて、近い将来考えていく必要がある。

お城ご朱印については、既にブームとなっている神社仏閣のご朱印のようにブームになりつつあり、東海地方でも多くのお城、城跡でも実施している。観光客を増やすためにも実施すべきである。

以上諸課題については、この先も状況の推移を見守り、適切に対処して行きたい。

井町よしたか
連絡先



HPはこちら

事務所 〒444-8522 岡崎市矢作町字出口1番地 東レ労組内

TEL:0564-34-2514 FAX:0564-34-2517

自宅 〒444-0931岡崎市大和町字塗御堂24-6

TEL:070-5253-4192 FAX:32-4192

E-mail : yimacchi@m5.catvmics.ne.jp

ブログ:<http://ameblo.jp/iimachi-imachi/>



政治に参加しよう！

地域の困りごとや、市政に対する意見・ご要望など気軽にご連絡下さい。